

令和2年6月4日

保護者 様

須賀川市立第二小学校長 正木 義輝

熱中症対策と運動時のマスク使用について

初夏の候、保護者の皆様にはご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、学校が再開され、体育の授業や休み時間に屋外で活動する子どもの姿がたくさん見られます。どの子どもも笑顔で、運動や友だちとの遊びに興じており、子どもたちにとってとても大事な時間なのだと実感しています。しかし、これからの時季は、日中の気温が上がるため、「熱中症」の危険を考えなければなりません。特に、暑さに慣れていないこの時季に注意が必要です。

本校としては、文部科学省の通知文及び市教育委員会の指示を受け、1ヶ月間程度、以下の対応をとりたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

1 体育の授業について

- (1) 体育の授業においてマスクを着用しない。※マスク着用を希望する場合は認める。
- (2) 児童間の距離を1～2m以上確保すること、不必要な会話や発声をしないことを、繰り返し指導する。
- (3) 体育の授業は、熱中症対策のため、途中で水分補給の時間などを入れて実施する。
- (4) 屋内で実施する場合は、呼吸が苦しくなるような運動を避ける。また、ドアを広く開け換気する。

2 休み時間の遊びについて

子どもたちが、遊びによってストレスを解消していることを考えると、かけっこや鬼ごっこなどの「自由な遊び」をやめさせることが必ずしも適当ではないと考えます。また、マスクをしていることによって、低・中学年の児童は、体調の変化や息苦しさを敏感に感じ取れないことも考えられ、熱中症のリスクが高まります。さらに、遊びの多くは、友だちとの距離を2m保つことは困難です。そこで、

- (1) 原則「マスク着用」とするが、気温が高い時は「マスクを外す」よう指導する。
- (2) かけっこや鬼ごっこなど、はげしい遊びをするときは、遊びのはじめから「マスクを外して遊ぶ」よう指導する。

3 登下校におけるマスク着用について

気温が高い中でマスクを着用しての登下校に、息苦しさを感じている児童がみられ、熱中症が心配されます。そこで、マスクを着用し、苦しい場合は外し、その際、周りの人との距離をできるだけとるよう指導していきます。自分の体の状態と周囲の状況に応じ、児童自身がコントロールできる力を身につけさせたいと思います。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

※ 朝から気温が高い場合は、着用せずに登校してもよい。(持参は、お願いしません。)